

完遂

3 学年通信

第3号



令和元年 7月 17日発行
福岡県立久留米高等学校
校長 木本 和宏
第3学年主任 新木 幸子

「〇〇の条件」

3組担任 江崎 健史

体育祭が終わり、早1ヶ月が経ちました。切り替えは出来ていますか？まだまだ時間はあると思いませんか？君たちが入学して2年と3ヶ月。これまでがあつという間だったように、これから3月までの期間もつと“あつ”という間です。勝手に時は流れます。

先日、とある中学校へ行った時、トイレにあった貼紙に釘付けになりました。一部を紹介します。

『常勝校の条件と弱小校の条件』

常勝校は、不満があってもじっと我慢し謙虚に受け止め、弱小校は、不満を口や態度に出し周りを巻き込む。常勝校は、練習に集中しているため黙々と取り組み、弱小校は、練習以外に意識がいくため無駄話が多い。常勝校は、自らやろうと行うため誰も見ていなくてもしっかりでき、弱小校は、やらされているため見ていなければ手を抜く。

常勝校は、生活態度がしっかりしており、弱小校は、そんなことは関係ないだろうと言う。

常勝校は、向上心があるため勝利してもまだまだと思ひ、弱小校は、少し勝つと安心して満足してしまう。

常勝校は、自己管理がしっかりしているため全員揃い、弱小校は、誰かが休んでも当たり前である。

どれくらい常勝に当てはまりましたか？スポーツも受験もよく似たものだど強く感じます。自分の生活行動に当てはめ、1日1日を大切に。2020年大学センター入試まで、今日時点であと**185**日!!

「受験勉強を楽しむ」

4組副担任 石井 達也

早いものでもう7月になりました。もうすぐ夏休みです。いまさら言うまでもありませんが、残りの高校生活は受験勉強に邁進してください。行きたい大学は決めましたか。行ける大学ではありません。行きたい大学です。決めたら合格を目指して一心不乱に勉強してください。何をどうしたらいいのかわからない？そんな甘えたことを言わないでください。親御さんたちは、わが子を進学させるために毎日必死で働いておられます。きみたちは、行きたい大学にふさわしい学力を身につけるだけのことです。来年2月あるいは3月に、合格通知を手にしてにこやかに笑っている自分の姿を思い浮かべながら精一杯がんばるだけです。ある意味、長い人生の中でこんなに充実した時期はそうそうあるものではありません。受験勉強ができることに感謝し、その幸せをかみしめながら、この時期を大いに楽しんでください。

「理想の自分に近づくために」

3組副担任 山下 俊子

「数字」は見方によって様々な意味を持ちます。例えば1学期期末考査において、現代文Bの得点が「70」点であったとしましょう。その数字は前回80点であった生徒には悪く、60点であった生徒にはよく感じられます。また、目標が70点の生徒には満足感、80点の生徒には不足感があります。さらに、全体での位置づけとしてはどうなのか？という視点で考えることもできます。

皆さんは成績(定期考査だけでなく、模試の結果も)を「良かった」、「悪かった」という感触だけではなく、

3つの視点

① 自己の過去との比較

② 自己の現在の目標との比較

③ ライバルとの比較

から正確に把握する必要があります。

そして具体的な学習計画を立て、まずは①での満足感を、さらに②、③とstep up しましょう。

あなたたちは理想の自分に近づくために、勝負のこの夏、どんな時間を過ごしますか？先生たちは準備万端です。お互い恥ずかしくない夏にしましょう。

高校での生活リズムは、今後の生活におけるの基本となり、学習内容は、受験のためのみならず「教養」として皆さんを支えてくれます。しっかり頑張ってください。

進路課より

合格を勝ち取るためのポイント ~この時期にすべきこと~

(1) 現在の自分の学力を把握し、「今後何をすべきか」を明確にする。

志望校の入試情報を可能な限り収集する。

現在の自分の学力と弱点をきちんと把握する。

「いつ」「何に」「どのように」取り組むのかを明確にし、優先順位をつけて勉強する。

模試や定期考査の問題に再度取り組み、勉強の成果を確認する。

(2) 時期を区切って学習計画を立てる

効率的に学習を行うためには、夏休みを①7月下旬・②8月上旬・③8月中旬・④8月下旬の4つの時期に分けて学習計画を立てることが大切。

「夏を制する者は入試を制す」=受験までにまとまった時間がとれる最後の機会

・1日の学習時間 平日6時間(課外授業を除く) 休日10時間

・1週間 合計50時間×5週間=250時間(15,000分)

(3) 学校の授業に軸足を置いた学習をする。(予習・授業・復習の黄金サイクル)

課外授業の出席=志望校合格

基礎固めをするうえで、効果的な学習法や工夫として、「高校の授業の予習・復習の徹底」や「基礎~中級レベルの問題集の反復学習」「模試問題の徹底復習」などが挙げられる。

夏の天王山にむけて各教科からのアドバイス

夏を制するものは受験を制する！！夏休みの過ごし方で合否は大きく変わります。効率的に計画的に夏休みを過ごせるように、各教科の先生方から夏休みの学習のアドバイスをもらっています！



国語科

センター試験まであと半年。秋からの実践対策のためには、この夏休みまでに受験基礎力を完成させることが絶対条件になります。国語では問題文を論理的客観的に読み解く力こそが受験基礎力と言えます。よって、語彙力・文法力の強化はもちろん、身につけた知識を総動員して文章の要点を把握する力の養成が重要となります。知識という点では、夏休みに意識して手がけておくことは、以下の通りです。(1)現代文 ①漢字 ②現代文重要語 (2)古文 ①古文単語 ②文法 (3)漢文 ①句法 ②漢文重要語 なお、夏課外や課題では「入試につながる現代文」「完成古典」「全統マーク模試過去問」に取り組み、知識を上手に用いながら要旨を素早く理解して問題を解くことを練習します。さあ、2学期からの快進撃に備えて徹底的に基礎を完成させましょう。

数学科

まず、必ず6月マーク、7月記述、8月マークのやり直しを徹底的にやってみましょう。そしてわからない問題は、必ず先生に聞いてわかるようにすること！特に夏休みは、わからない分野を徹底的にやり直しできる最後のチャンスです。数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bまでで苦手な分野や内容をきちんと書き出し、それに対する自分のレベル（教科書からわからないのか、チャートレベルができないのか）を確認し、何をやり直すべきかを考えてください。それをしっかり解く！解く！解きまくってください！ある程度やり直しができている人は、重要問題集で今まで解いた1日1題をもう一度解きなおす！全部解き上げて、1日1題を2回目にしてもよいと思います。最後に数Ⅲ選択者は、上記のプラスαで数学Ⅲの微分のグラフを完璧に描く練習&積分のマスターをしましょう。ここを完璧にできれば、2学期以降の数学Ⅲの学習や入試が格段に楽になりますよ！とにかく、夏が勝負です！！解きまくってください！

英語科

～「敵を知り己を知れば百戦殆うからず」～

先ず、センター試験や志望大学の過去問を見て、難易度、分量、解答時間、問題形式等を確認しよう。また、スタディサポートや模試の個人成績データを活用し、自分の現在の英語力を分析すること。到達目標までの差を埋めるためには、今、何をどのようにやるべきかが見えてくる。弱点分野を補強することが最優先される。やみ雲に勉強するのではなく、地に足を着け、よく考え、戦略的にやろう。次のことを念頭に置いて、粘り強く、暑い夏を乗り切ってほしい。

- ①必ず毎日英語を学習する。1日でも勉強しないと英語力が明らかに低下する。
- ②語彙力を増強する。単語力・熟語力なしでは戦えない！常に「ターゲット」を携帯し、隙間時間を活用すること。
- ③センター試験の概要、分野ごとの攻め方を押さえ、運用力を積み上げる。(夏課外でも扱う)
- ④「ヴィンテージ」を制覇する。不得意な分野からやるのがよい。小テストでは満点を目指す。
- ⑤リスニングを克服する。「Listening Ace 10」等 CD 付きの教材を使って、毎日短時間(15～30分)でもよいので学習する。スクリプトの音読が効果的。継続学習が苦手意識を払拭してくれる。
- ⑥課題は計画的に取り組み、期限を守る。

社会科

公民・・・政経分野については、既習の経済原論(金融・財政のしくみなど)について、授業プリントで再度復習しておいてください。倫理分野(ギリシア思想・ユダヤ教・キリスト教・イスラーム・仏教)については、教科書を二回は読んでおいてください。政経分野、倫理分野ともに、正誤問題プリントを解答付きで渡しますので、夏休みにチェックしておくこと。

世界史・・・まず教科書を準備し2ページの目次をめくります。今授業で習っているところに線を引き、それよりも前が夏休みの課題です。目次の節タイトルを見て、1つずつ、自分の理解度に応じて○・△・×を着けていきます。×は最重要課題。△はその次の課題です。さあやるのが決まったら、教科書(参考書)で流れを確認⇒用語集(単語帳など)でインプット⇒総合マスターで演習アウトプットのサイクルで、苦手分野をなくしていきましょう。

日本史・・・日本史の自学のポイントは、多くの問題を解いて問題に慣れることと、間違った所を復習することです。旧石器時代から江戸時代までの一問一答、ゼミナール、正誤問題を繰り返し繰り返しやりましょう。「学問に王道なし」地道に取り組みましょう。

地理・・・基礎知識の9割は学習済みです。不安がある人は、サクシードを中心に復習しましょう。教科書のアンダーラインに注意して読み返す方法も効果的です。夏季課外は、使用する問題集を予定される範囲まで必ず解いてやり直しまで済ませて、臨んでください。

理科

物理・・・まずは夏休み課外の予習を確実にやることです。自力で問題を解かなければ力になりません。また、1学期の課外や課題で扱った問題を完璧に解けるように復習しましょう。なんとなく見過ごしている問題はありませんか？解けなかった問題は必ず見直しを徹底するように！！さらに余裕がある者は、セミナーの「力学・熱・波」の分野の問題を全問解き、演習量を増やしましょう。もう本気で始めなくては間に合いません。頑張ろう。

化学・・・夏休みまでに理論化学を終わるように計画しましょう。数多くの問題を解くよりも、例題やそれに似ている問題を何度も繰り返して完全に解けるようになることが大切です。解法を覚えるのではなく、なぜそのように解くのかを考えて解くようにするといいです。理論が理解できれば、あとは無機・有機化学をがんばって暗記するだけです。理論が理解できていれば無機・有機の暗記が楽になるはずですよ。

生物・・・夏休みにしかできないこと、、、「生物基礎」と「呼吸・遺伝子」の復習です。課外と授業で呼吸・遺伝子の復習を行います。しかし生物基礎は各個人にお任せです。2次試験対策はもちろんのこと、センター試験のためにも生物基礎の復習は必須となります。また、今までの[細胞・代謝・遺伝子・発生・受容と反応・個体群]のそれぞれの単元で抵抗を感じる内容があったと思います。苦手を克服しておかないと、演習に入った時にいつまでも同じところで躓いてしまいます。2学期に教科書の残り[進化・系統]をやりますが、その後スムーズに演習に入れるように膨大な復習を済ませておきましょう。

